

学ぶところが輝く学校

茅ヶ崎市立汐見台小学校

学校だより 11月号

令和4年11月2日

校長 大越 敏孝

『運動会』 一人一人の頑張りを認め合おう

～協力の水で成功の花をさかせよう～

さわやかな秋晴れの空の下、令和4年度の運動会を開催することができました。

今年の運動会は、各学年の種目が1つ増え、徒競走・団体競技・表現（ダンス）の3種目で行いました。そして、徒競走や団体競技には得点をつけ、赤白に分かれて2年ぶりに優勝・準優勝を決めました。結果は、赤496点、白469点の接戦で赤組の優勝となりました。

開会式の校長の話の中で、「みんなに大切にしてほしいことは、きのうまでの練習に頑張ってきた自分。今日の運動会で全力を出し切る自分。そして、その一人一人の頑張りをみんなで互いに認め合い、支え合い、みんなで一つの力にすることです。」と、子どもたちに伝えました。

子どもたちは、今持っている力を精一杯発揮し、演技や競技で生き生きと輝く姿を見せてくれました。



1・2年生「新★時★代～しんじだい～」

キラキラのボンボンとキラキラの笑顔で踊る可愛いダンス。ウェーブも大きな振りでも上手にできました



3・4年生「未来へはばたけワタリドリ」

元気一杯のリズム感のあるダンス。渡り鳥が飛ぶ様子を表現したり、時間差で踊ってカッコよくポーズを決めました。



5・6年生「汐小ソーラン2022」

法被の背中に描いた波。6年生は一人一人の想いがこもった文字。そして、5・6年生の魂のこもった力強いダンスで、運動会の最後に花を添えてくれました。

閉会式の赤組児童代表の言葉の中に、このような一節がありました。「ソーラン節実行委員となり6年生から5年生にソーラン節を教える係になりました。6年生と5年生で共に、ソーラン節を協力し練習することで、それを本番に発揮できたと思いました。他の学年の競技や演技を見ても、運動会は『運動』だけではないということを確認しました。」運動会に向けた取り組みや関わりの中でこそ、得られたものがあったということを確認してくれました。そして、白組児童代表は、「6年生最後の運動会を楽しめた。」と、みんなに伝えてくれました。

勝ち負けだけにこだわるのではなく、子どもたちには、今までの積み重ねや努力を互いに認め合い、讃えあい、さらに成長するための力にしてほしいと思います。そして、運動会で得た子どもたちの達成感を、次の行事や日々の学習活動につなげてもらいたいと思います。

保護者の皆様には、検温や健康状態のチェック、入退場にも整然とご対応いただきました。児童への温かな応援や拍手、そして、ご理解とご協力に感謝申し上げます。また、開催にあたり、汐見台小PTAの皆様、汐見台小推進協 はじめ あいさつ見守り隊の皆様にご支援とご協力をいただきました。ありがとうございました。

